



就労支援の一層の充実に向けて

— 「福祉・就労支援コーナー」の開設 —

京都市長：門川 大作

市民の皆様の視点に立ってあらゆる政策を融合する。市政運営を進めるうえでの私の信条ですが、現在、福祉支援と就労支援を融合した取組が本市と国との確固たる連携により着実に前進しています。

平成24年12月、本市は区役所・支所等3箇所の施設内に、本市職員とハローワーク職員が一つのチームとなり「福祉・就労支援コーナー」を開設しました。これによって福祉支援と就労支援双方のサービスを一元的に、きめ細かく提供することが可能になり、施設の利便性も向上しました。

開設後1か月の間にコーナーを御利用くださったおよそ60名のうち、実に7割の方が初めてハローワークに登録された、もしくは長期間ハローワークを利用した求職活動を行うことができなかつた方でした。福祉サービスの向上が求職活動の利便性向上につながり、相乗効果を生み出していることを誠に嬉しく思います。

今後とも、「福祉・就労支援コーナー」の機能を最大限に活用し、関係機関との連携を図りながら、より良いサービスの提供に努めてまいります。